

日本歯周病学会第4回信越・北陸地区臨床研修会報告

去る平成27年3月1日、第4回日本歯周病学会信越・北陸地区臨床研修会を下記のとおり開催しましたので、ご報告いたします。

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会

共催：一般社団法人 石川県歯科医師会

大会長：蓮池芳浩（一般社団法人 石川県歯科医師会会長）

実行委員長：三谷章雄（愛知学院大学歯学部歯周病学講座教授）

運営事務局：愛知学院大学歯学部歯周病学講座内（担当：菱川敏光）

日時：平成27年3月1日（日曜日） 10:00～16:00

会場：石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール

テーマ：歯周治療とからだの健康

プログラム

- ・特別講演Ⅰ「歯周病と全身疾患の関連を再考する」 村上伸也 大阪大学大学院教授
- ・歯科衛生士教育講演「歯周基本治療をみなおそう！」 池田雅彦 臨床研修委員会委員長
- ・日糖協 教育講演「歯周病と糖尿病の関連」 林潤一郎 愛知学院大学歯学部講師
- ・特別講演Ⅱ「歯周治療のチェックポイント」 三谷章雄 愛知学院大学歯学部教授
- ・ランチョンセミナー
 - 「GTR法テーブルクリニック」 菊池毅 愛知学院大学歯学部講師
 - 「エムドゲインによる再生療法」 菱川敏光 愛知学院大学歯学部講師

信越・北陸地区臨床研修会は前回の福井県開催から2年ぶりに行われました。歯周病学会の「各地域の歯周病の予防ならびにその治療の向上を通じて、国民の口腔保健に寄与する」という目的のために、石川県歯科医師会との共催事業として計画されました。愛知学院大学歯学部歯周病学講座としては2008年の第51回秋期学術大会以来の歯周病学会主催事業となり、当時の経験を思い出しながら、三谷教室として初の事業となりました。遠隔地での開催にあたり、石川県歯科医師会学術部の先生方の献身的なご協力により、開催地との距離を感じることなく準備でき、また運営にあたり多くの素晴らしいスタッフを動員していただけたことは、私たちにとって大変ありがたいことでした。

当日はあいにくの雨模様でしたが、定刻より多くの参加者にお集まりいただき、蓮池芳浩石川県歯科医師会会長の現在および将来の歯科医療を見据えた開会の挨拶に始まりました。大会テーマである「歯周治療とからだの健康」を基調として、一般的な歯科診療の中でどのようにして口腔内だけでなく全身状態も含めた患者の健康に寄与するかという、すべての歯科医師・歯科衛生士にとって身近かつ重要な研修会となりました。

プログラムは講演会形式の4セッションで構成され、村上先生の特別講演と林先生の日糖協教育講演では、共に糖尿病を中心とする歯周炎と関連の深い全身疾患について、最新の知見を交えながら、持つべき知識を整理する内容でした。また、池田先生の衛生士教育講演、三谷先生の特別講演は、どちらも口腔内から全身の健康を考えるため、歯周治療の基本的なステップを確認し、知識・技術の両面を補強する内容でした。

さらに、お昼の時間を利用して開催した臨床的な内容のランチョンセミナーには60名を超える参加がありました。GTR法テーブルクリニックは、菊池先生の指導の下、バイオメンド®（白鵬）を用いてメンブレンの扱いを実習形式で学びました。エムドゲイン®（ストローマン）による再生療法は講義形式で行われ、参加者は熱心に菱川先生の話に耳を傾けました。

一日を通して、合計の参加者は216名（歯科医師：117名、歯科衛生士：99名）となり、三谷章雄実行委員長の閉会挨拶の後には研修印の押印のための長い列が出来ました。

盛会のうちに閉幕できましたことを、改めてご参加の皆様、関係者の皆様に御礼申し上げます。以上をもちまして、ご報告とさせていただきます。



上段：メイン会場の様子

中段：蓮池大会長、村上副理事長、
池田委員長

下段：林実行委員、三谷実行委員長